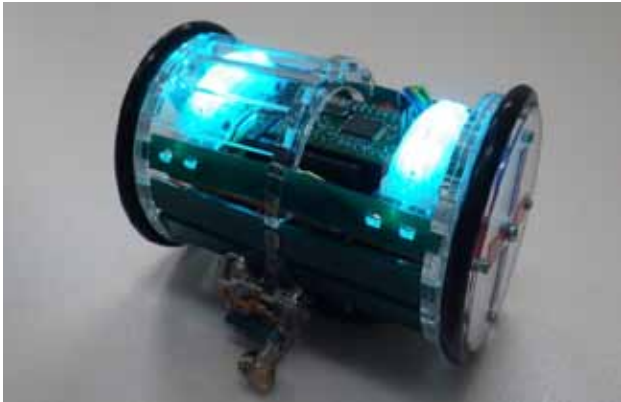
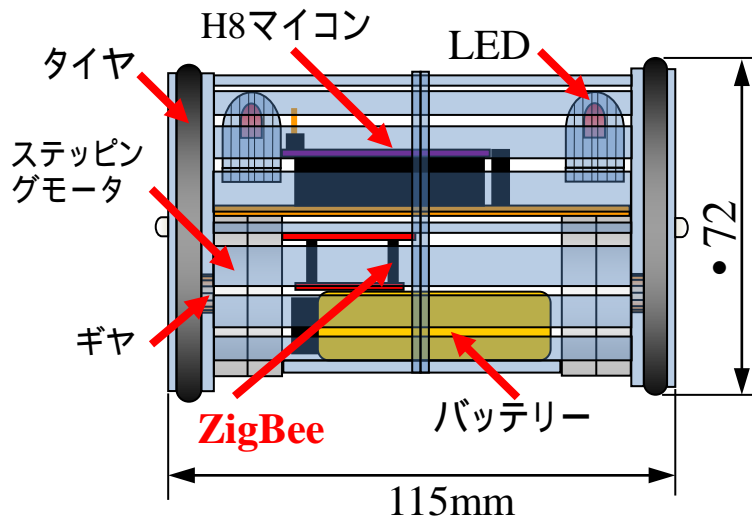


日程 2014年11月3日(月・祝)

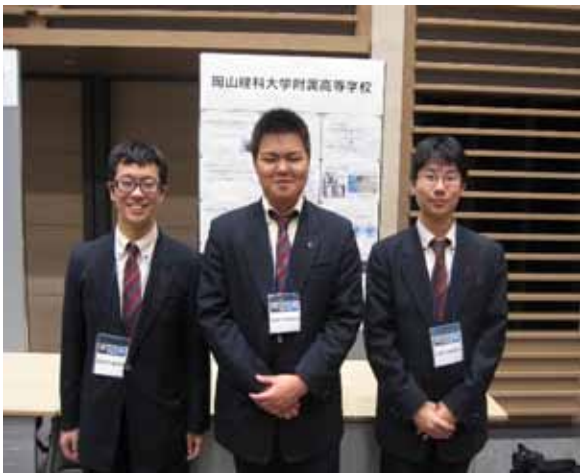
場所 大阪市 コングレコンベンションセンター



開発した小型遠隔操作ロボット.

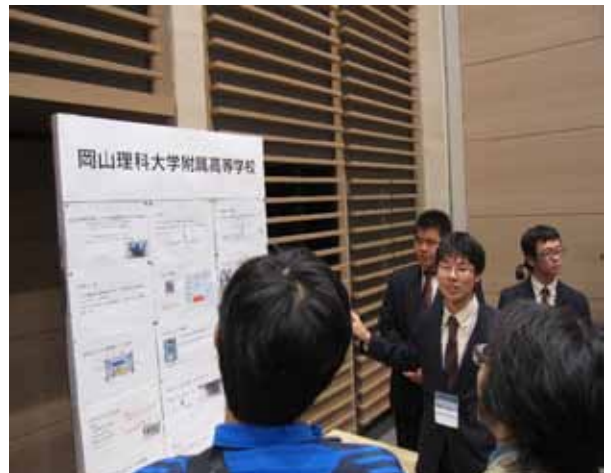


無線端末にはZigbee規格を採用。70m離れた場所でも手元のPCから制御可能な仕様。サイズはφ72mm x 115mm(幅)と非常にコンパクトな設計。光っているのは流行のLEDライト。将来的にはレスキューロボへの応用を見据えている。



ポスター形式にて発表

左から石原(R2A), 田邊(R2A), 細貝(R2A)の3名が発表。



ポスター見学に来られた方に自分たちの日頃の研究内容を説明している様子

内容: SSH指定校をはじめ、京都産業大学など、全国から約41件のポスターが集まった(内3件の口頭発表)。本校からは、課題研究で行っている研究『小型遠隔操作ロボットの開発』を報告した。益川教授(京都産業大学:教授)による特別授業「益川教授に聞いてみたい - 未来のこと、夢のこと - 」や、川口教授(JAXA)による基調講演「はやぶさが開く、太陽系大航海時代の幕開け」、パネルディスカッションなども同時開催された。興味を持って見学に来られた方もおり、生徒は皆生き生きとした様子で発表していた。

感想: 自分たちの研究に興味を持ってくれた方がいて良かった。遠隔操作の仕様について、色々アドバイスを受けた。少し発表で失敗した時があった。今後、今回のシンポジウムで指摘を受けた内容を発展させて、いまよりも機能拡張を目指していきたい。= 生徒の感想より =